

Q 4 何を作るかを決めるには、どうしたらよいですか？……

基本は生き方

まず、大事なことは、自分がどんなことをしたいのか、ということです。極論的にいいますと、どんな生き方をしたいのかということ、つまり、最終的にはその人の人生観に委ねられることとなります。どんなに難しくても、収益性が高かるうが低かるうが、とにかく花を栽培してみたいのであれば、花を栽培して満足感を得ればよいでしょう。また、ある程度収益性の高いものを栽培したいということであれば、そういった作物を調べてみることから始めればよいでしょう。

選択の条件

同時に、その地域の気候や土壌の条件によって栽培が難しいものもあるので、そのことも心得ておく必要があります。そのような情報は、農業振興事務所などで、ある程度のことがかかります。

一般に粗収益の高い（生産物の単価が高い）作物は、技術的に難しかったり、労力を多く必要とするものであったりします。逆に、栽培がやさしいもの、比較的手の掛からないものは収益が低いということになります。例えば野菜などでは、葉菜は比較的作りやすく、果菜類は難しい技術を要したり、労力も掛かります。また、施設栽培では、環境管理の善し悪しが栽培そのものに影響します。つまり、栽培者の技術差が、そのまま収量差になって現れやすいということになります。

農業を始めるにあたっては、最初からあまり収益性については考えないほうがよいと思われます。農業という職業には、利潤追求以外にも目的を求められるよさがあり、むしろそちらにこそ価値があると考えないとできない職種です。

初心者の心得

初めは誰でも初心者です。したがって、技術差の生じない作物から始めたほうが危険が少ないはずですが、また、施設栽培は施設の建設に多大な資金を要し、かつ技術差が生じやすいので、初心者は慎重に取り組むべきでしょう。また、初めから新しい作物を開拓していくことも一考を要します。ものめずらしさだけでなく、消費量にも注意を払うことが大事です。

